

# あなたの大切な情報

ふりがな

氏 名

男 ・ 女

明治・大正  
昭和・平成

生年月日 年 月 日 年齢 歳

## 連絡先

住 所 〒

電話番号 携帯番号

血 液 型 A ・ AB ・ B ・ O 型 ( Rh + - )

## 緊急連絡先

住 所 〒

電話番号

## 副作用/アレルギー歴 ( 有 ・ 無 )

お 薬

花粉症

食べ物

## 主な既往歴

- |                                   |                              |                               |                                             |
|-----------------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> アレルギー性疾患 | <input type="checkbox"/> 腎疾患 | <input type="checkbox"/> 高脂血症 | <input type="checkbox"/> 気管支喘息              |
| <input type="checkbox"/> 高血圧      | <input type="checkbox"/> 緑内障 | <input type="checkbox"/> 肝疾患  | <input type="checkbox"/> 消化器疾患              |
| <input type="checkbox"/> 白内障      | <input type="checkbox"/> 心疾患 | <input type="checkbox"/> 糖尿病  | <input type="checkbox"/> その他 (            ) |

※詳細は医師、歯科医師、薬剤師に記入してもらってください。

## お薬を安全にお使いいただくために、 「お薬手帳」をご活用ください

処方された薬の名前、飲み方、必要事項などを薬剤師が「おくすり手帳」に記録します。この記録により、医師・歯科医師・薬剤師が薬の重複や飲み合わせなどを確認し、安全に薬をお受け取りいただくことができます。また、災害時や旅先などでもお使いの薬をすぐに把握することができます。病医院・歯科医院・薬局に行った際は、医師・歯科医師・薬剤師に毎回「おくすり手帳」をお渡しください。

## こんなときに「お薬手帳」をお役立てください



■ 複数の診療施設・科を受診するとき  
どの病院(科)から出ているお薬も一冊の手帳に記録しましょう。もし複数冊お持ちの方は、薬剤師に一冊にまとめてもらいましょう。

薬剤師がお薬の重複や相互作用をチェックします。

■ 市販薬との飲み合わせのチェックに  
自分で薬や健康食品を購入したときはその名前を手帳に記録しておきましょう。

薬剤師があなたのお薬と飲み合わせをチェックします。

■ 医師に自分の薬について伝えるとき  
受診するときは必ずお薬手帳を携帯しましょう。

医師はお薬手帳の内容からあなたの薬物治療についてより適切な判断をすることができます。

■ 健康手帳として  
検査値の記入欄やメモ欄を利用しましょう。

あなたの健康管理にお役立てください。

## お薬アレルギーなどの事前防止に

過去に経験したアレルギーやお薬の副作用、今までにかかったことのある病気について記録しておきましょう。

薬剤師があなたにとって安全な薬かどうかチェックします。



使い方や記入方法がわからない点は薬剤師にお気軽にお尋ねください。

## 医療機関の方々へ

この「お薬手帳」は患者さんの薬の服用歴等を記録したものです。処方の際にご参考ください。また、医療機関で直接投薬されます場合には、処方等をご記入くださいますようお願い致します。



































ジェネリック医薬品やお薬全般に関して医師・薬剤師に伝えたいことをご記入ください。  
 自分で市販のお薬を服用されている場合、ご記入ください。  
 他の薬局でお薬を処方されている場合、お薬手帳を一冊にしましょう。

※検査方法により検査値が異なることがあります。※基準値の範囲はあくまでも目安となるものです。

32